



平成30年10月5日
九州地方整備局

平成30年9月台風第24号における出水について

(第1報)

【大淀川水系、肝属川水系】

○九州内20の一級水系のうち、大淀川水系、肝属川水系で
氾濫危険水位を超過し、肝属川水系始良橋水位観測所で
観測史上最高水位を観測しました。

平成30年9月台風第24号における出水により、氾濫危険水位を超過した大淀川水系、肝属川水系の雨量や水位の情報等についてとりまとめました。

今回の出水では、九州内20の一級水系のうち、2水系で氾濫危険水位を超過し、肝属川水系始良水位観測所で観測史上最高水位を観測しました。

今回の豪雨被害からの早期復旧に向け、引き続き全力で取り組んで参ります。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部

河川計画課長 こばやし ゆう
小林 侑 (内線：3611)

建設専門官 たかしま つねよし
高島 恒善 (内線：3616)

電話：092-471-6331(代表)

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

平成30年9月台風24号における出水について【速報版】
(第1報)

(大淀川水系、肝属川水系)

九州地方整備局
平成30年10月5日

目 次

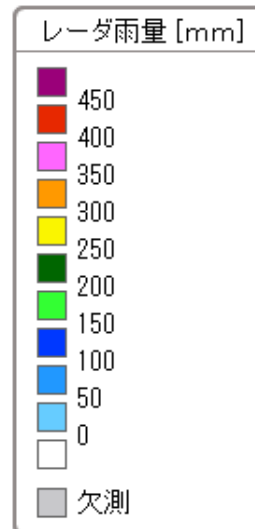
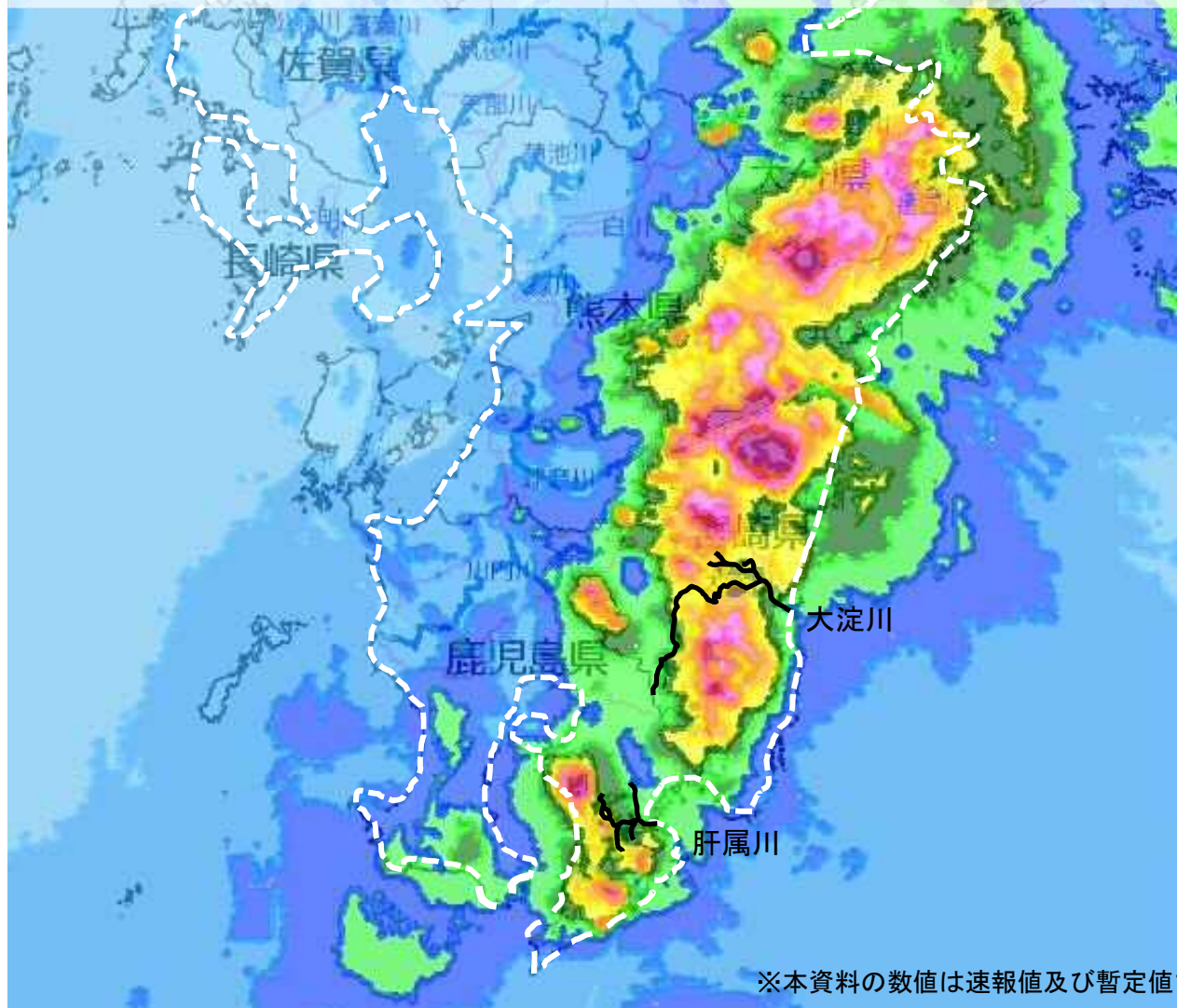
1. 気象・降雨の概要	1～
2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況	2～
3. 降雨の概要	3～
4. 水位の概要	5～
5. 出水状況写真	14～
6. ホットライン実施状況	16～
7. 治水事業の効果	17～

1. 気象・降雨の概要

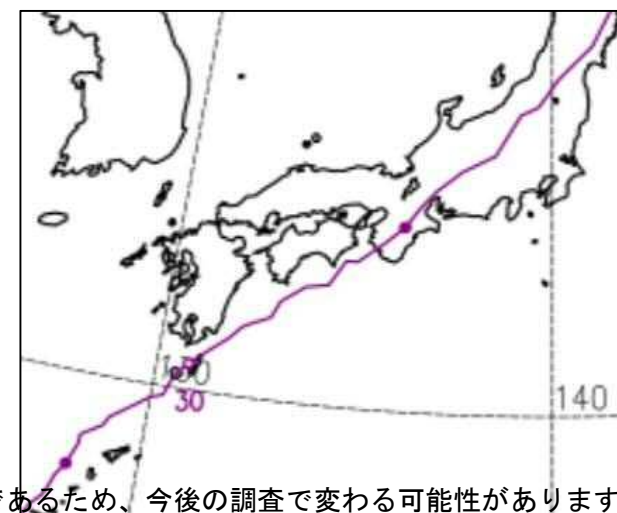
○9月29日（土）から30日（日）にかけて、台風第24号により九州の南東に強い雨域がかかり、**大分県、宮崎県、鹿児島県を中心に大雨**となりました。

9/29 21:00～9/30 21:00累積レーダ雨量

（統一河川情報システムより作成した図を加工し、氾濫危険水位を超過した水系を黒色で示す）



台風経路図（気象庁ウェブサイトより）



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

2. 九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況

【平成30年10月3日現在】

○九州内20の一級水系のうち、2水系で氾濫危険水位を超過し、肝属川水系の始良橋観測所で観測史上最高水位を観測。

1. 河川出水状況（直轄河川）

○レベル4（氾濫危険水位超過）＜2水系＞
・大淀川、肝属川

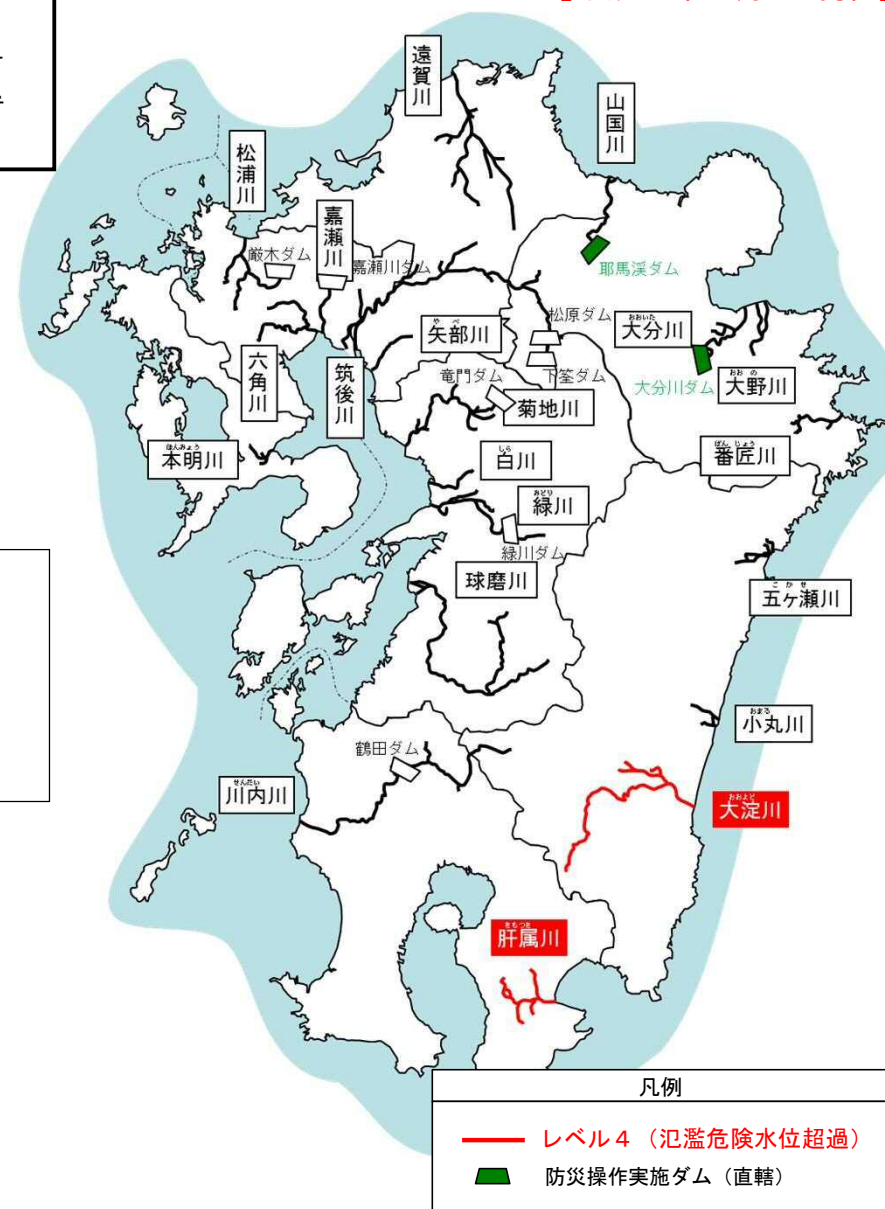
※現在水位は水防団待機水位以下まで降下

2. 直轄ダム防災操作状況（直轄河川）

○直轄2ダムで防災操作を実施
耶馬溪ダム（山国川水系）、
大分川ダム※（大分川水系）
※試験湛水中であったが貯留による洪水処理を実施

3. ホットラインの実施状況

○大分川水系4回、大野川水系2回、
番匠川水系2回、小丸川水系2回、
大淀川水系7回、肝属川水系9回

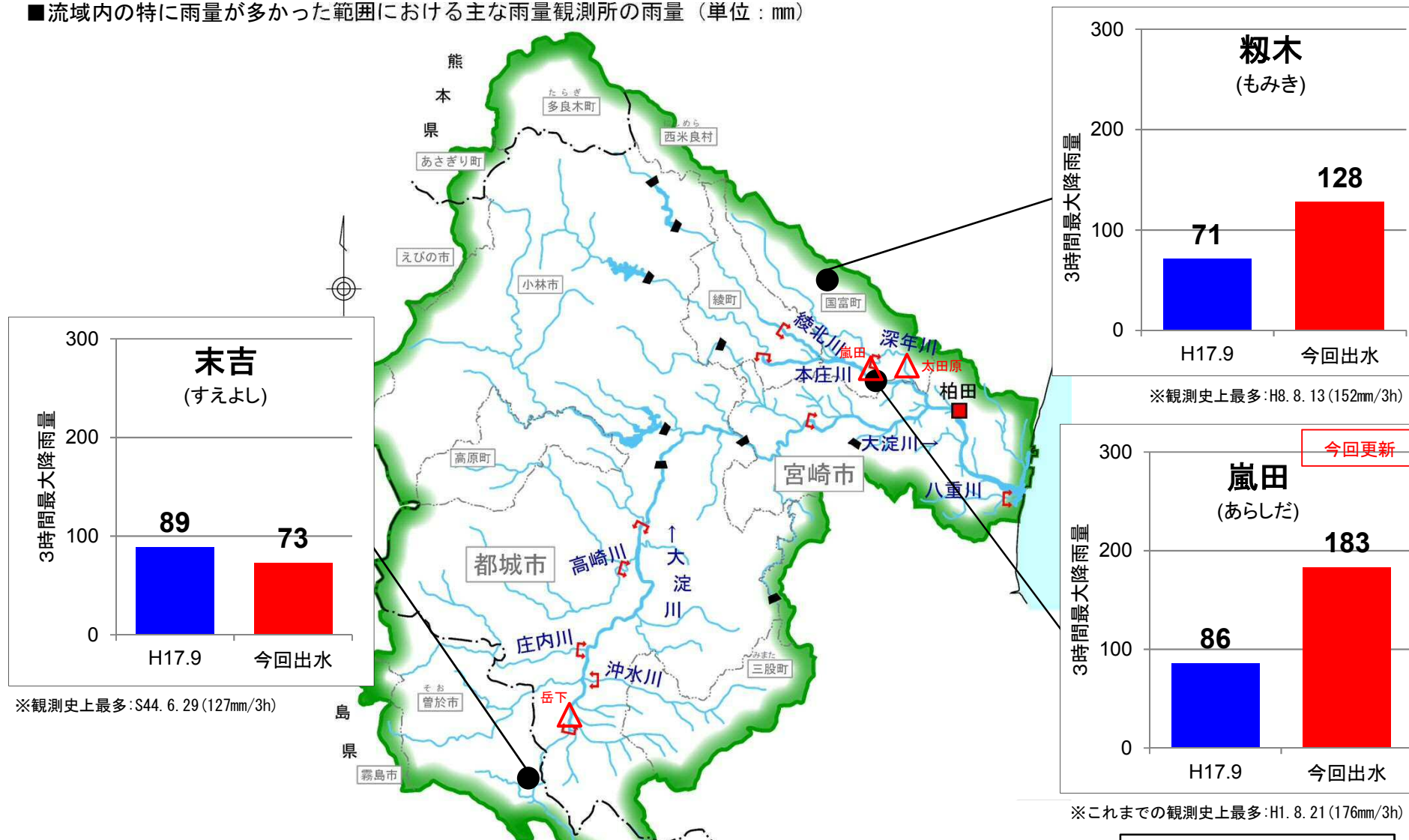


※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（大淀川流域の雨量）

大淀川流域では、一部の雨量観測所において、近年の主な出水（H17）を上回る3時間雨量を観測したほか、嵐田（あらしだ）雨量観測所において観測史上最多3時間雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量（単位：mm）



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 降雨の概要（肝属川流域の雨量）

肝属川流域では、一部の雨量観測所において、近年の主な出水（H17）と同規模の3時間雨量を観測しました。

■流域内の特に雨量が多かった範囲における主な雨量観測所の雨量（単位：mm）



本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

△ 氾濫危険水位を超過した観測所

4. 水位の概要

2水系（大淀川、肝属川）において氾濫危険水位を超える洪水が発生し、肝属川水系始良橋観測所において観測史上最高水位を記録しました。

【氾濫危険水位を超過した水位観測所一覧】

水系名	河川名	観測所名	今回最高水位(m)		観測史上最高水位(m)
肝属川	始良川	始良橋(あいらばし)	6.34	9月30日10:20	6.04(H17.9.6) ※2
大淀川	大淀川	岳下(たけした)	5.04	9月30日11:50	5.28(H9.9.16)
大淀川	本庄川	嵐田(あらしだ)	5.31	9月30日14:00	6.55(H17.9.6)
大淀川	深年川	太田原(おおたばる)	7.57	9月30日14:10	9.04(H17.9.6)

※1 赤字は今回の降雨によりこれまでの観測史上最高水位を超過したものの

※2 これまでの観測史上最高水位



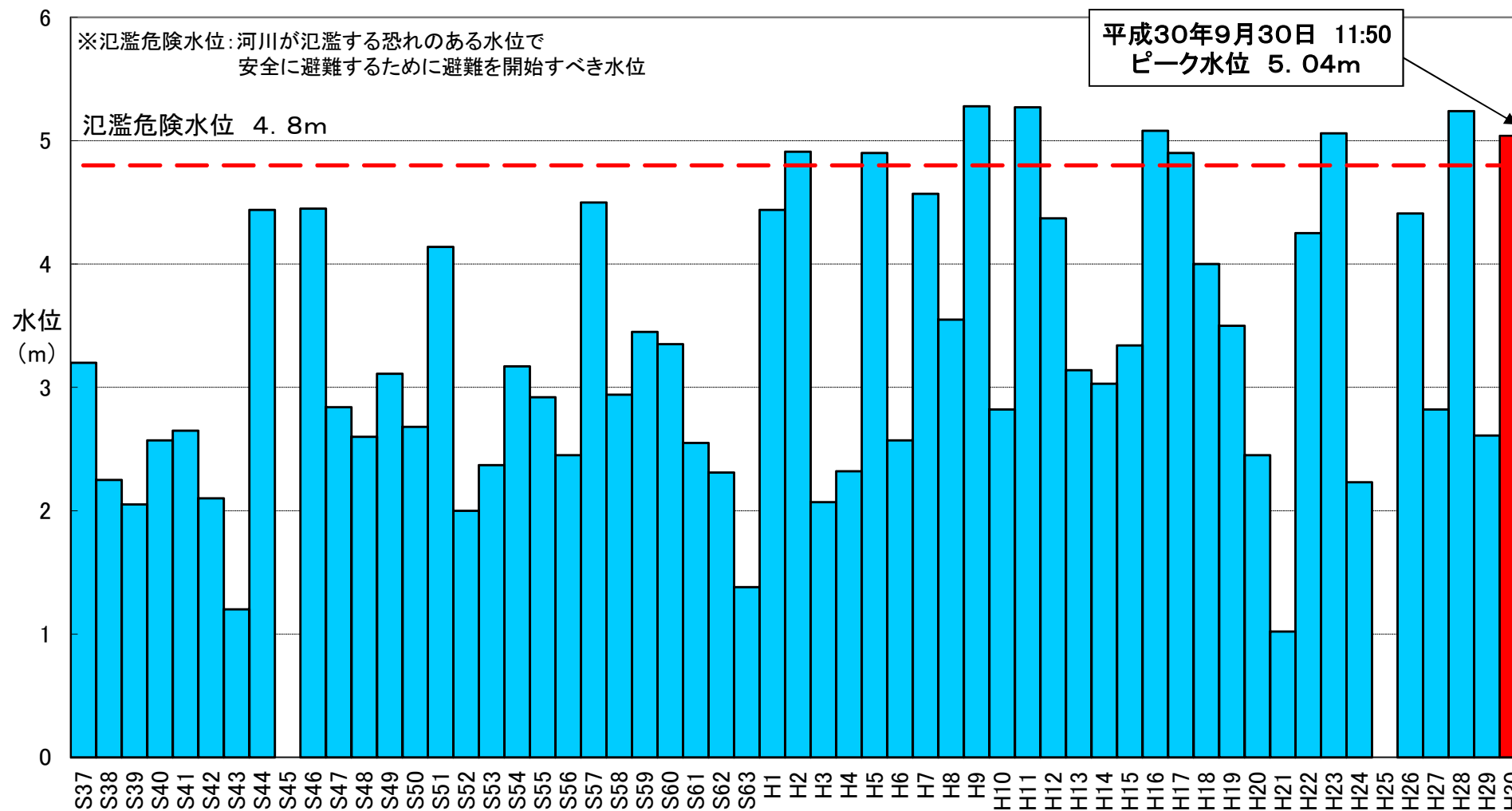
本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の概要①-1 (大淀川水系大淀川)

大淀川水系大淀川の岳下(たけした)水位観測所において、9月30日11時50分に最高水位5.04mを記録しました。

大淀川(岳下水位観測所)の年最高水位比較図

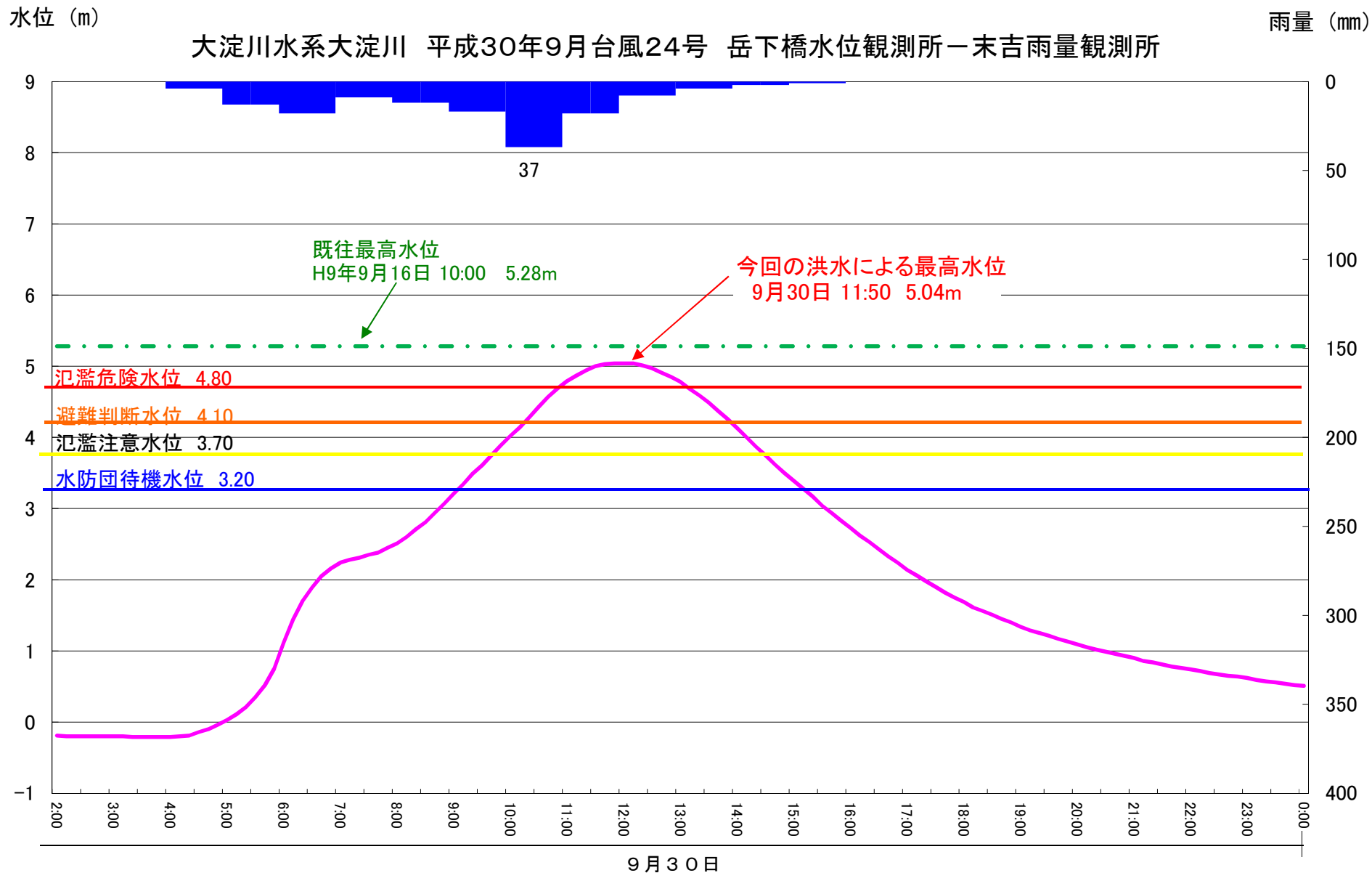
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※岳下水位観測所 所在地:大淀川 77.6km地点(宮崎県都市都島) 零点高:T.P. 135.0m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要①-2 (大淀川水系大淀川)



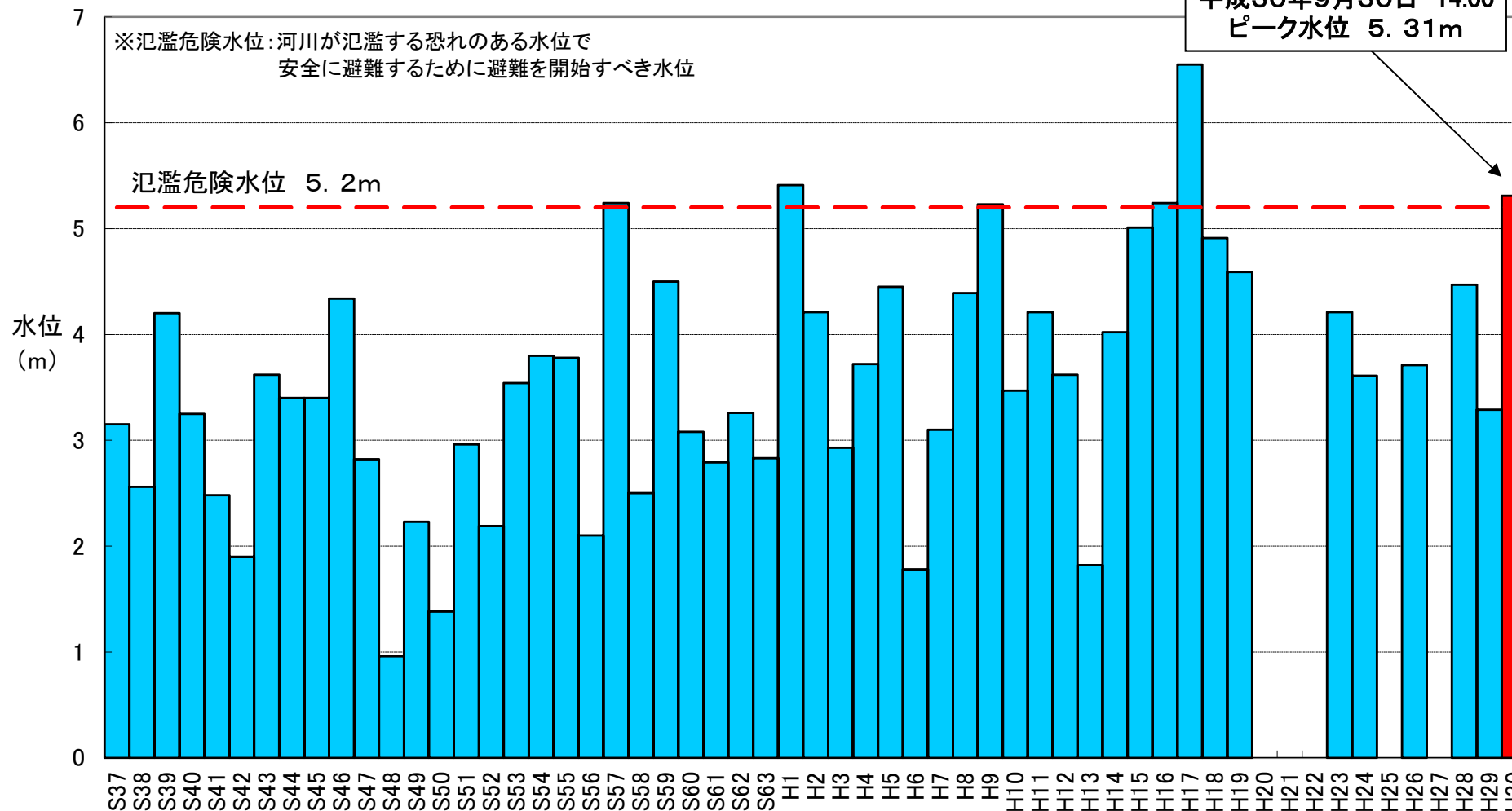
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の概要②-1 (大淀川水系本庄川)

大淀川水系本庄川の嵐田(あらしだ)水位観測所において、9月30日14時00分に最高水位5.31mを記録しました。

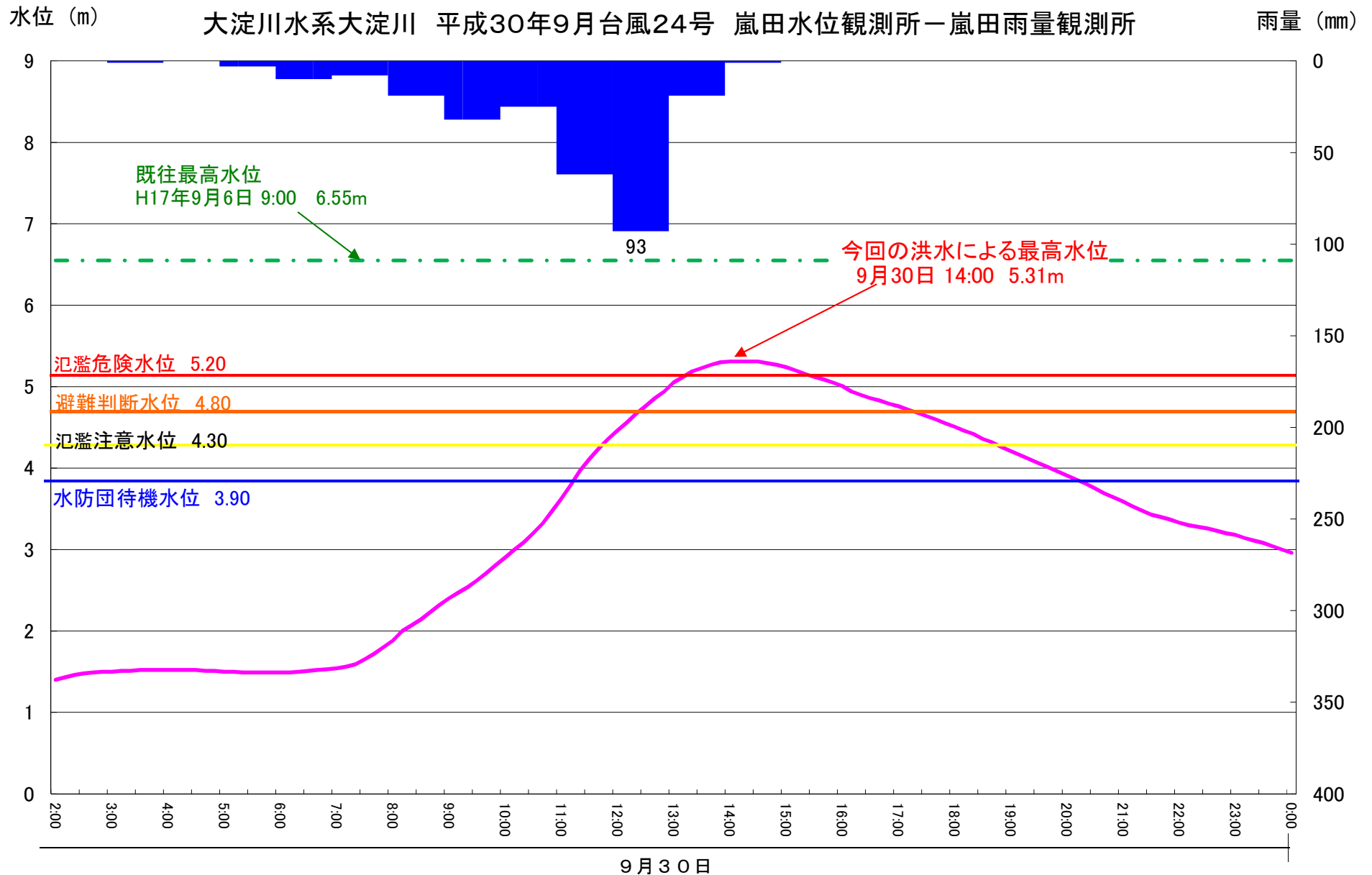
本庄川(嵐田水位観測所)の年最高水位比較図

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※嵐田水位観測所 所在地: 本庄川 6.95km地点(宮崎県東諸県郡国富町大字本庄字下本庄) 零点高: T.P. 8.437m ※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要②-1 (大淀川水系本庄川)



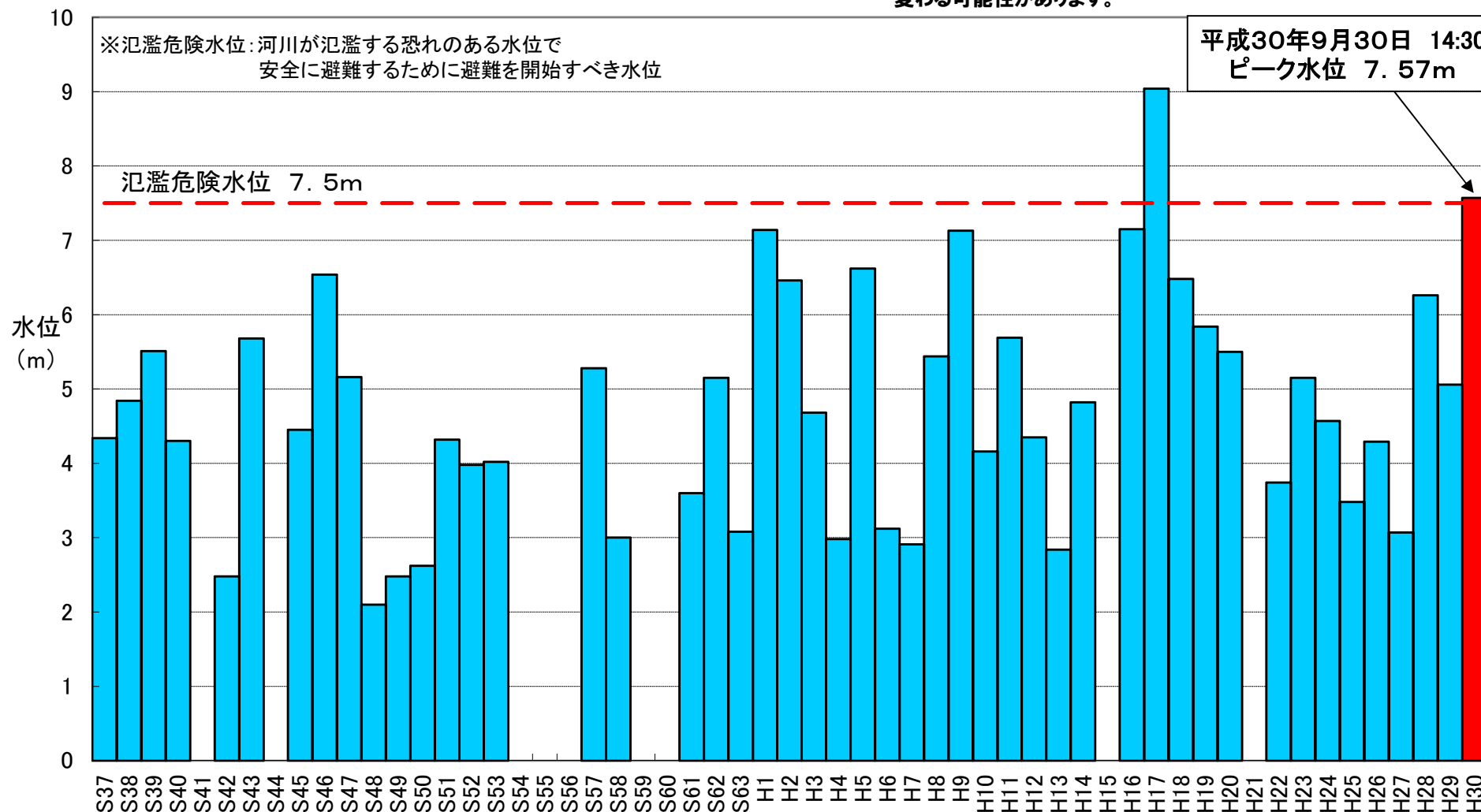
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の概要③-1 (大淀川水系深年川)

大淀川水系深年川の太田原(おおたばる)水位観測所において、9月30日14時30分に最高水位7.57mを記録しました。

深年川(太田原水位観測所)の年最高水位比較図

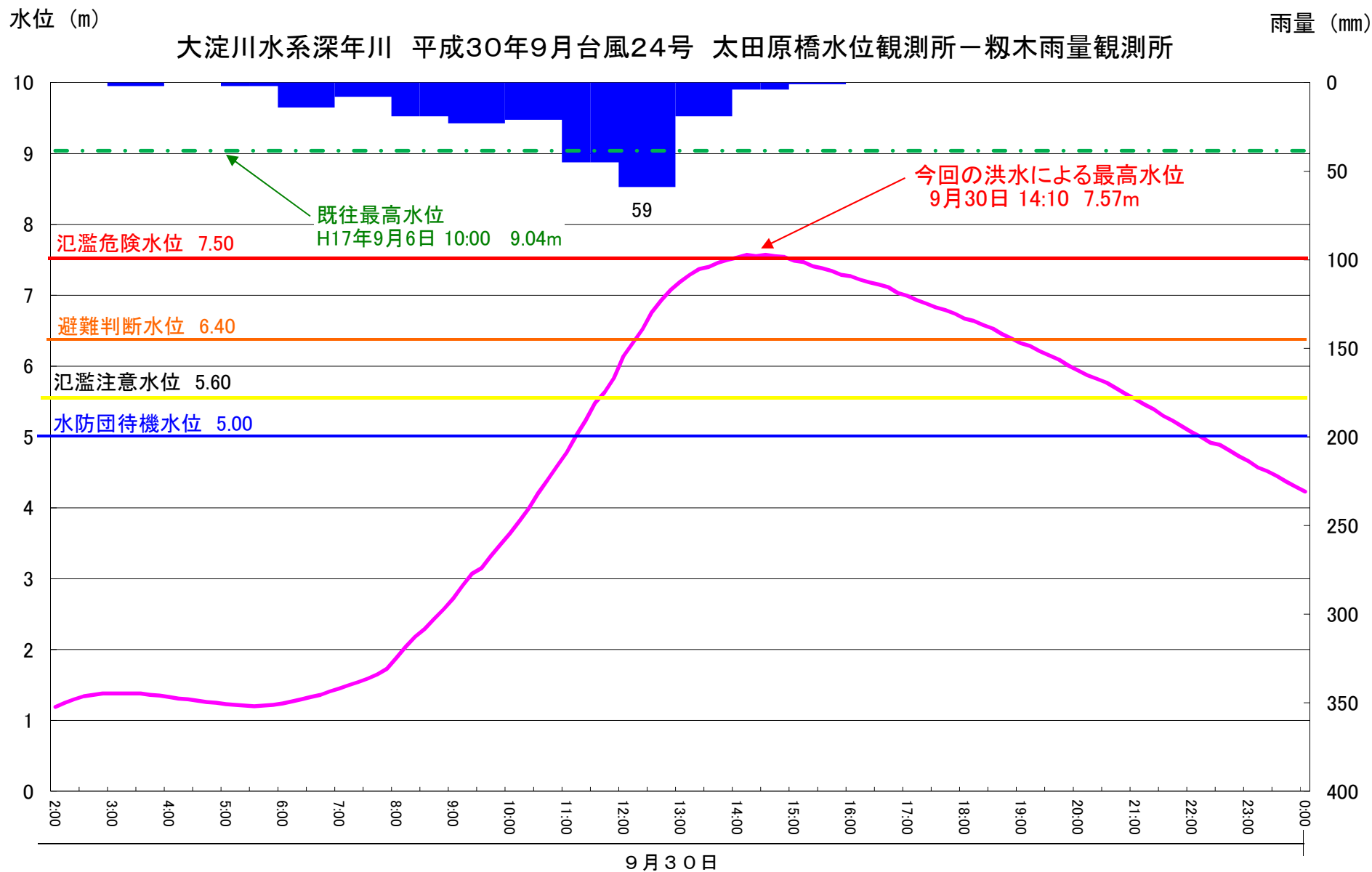
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※太田原水位観測所 所在地: 深年川 1.4km地点(宮崎県東諸県郡国富町太田原) 零点高:T.P. 4.181m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要③-1 (大淀川水系深年川)



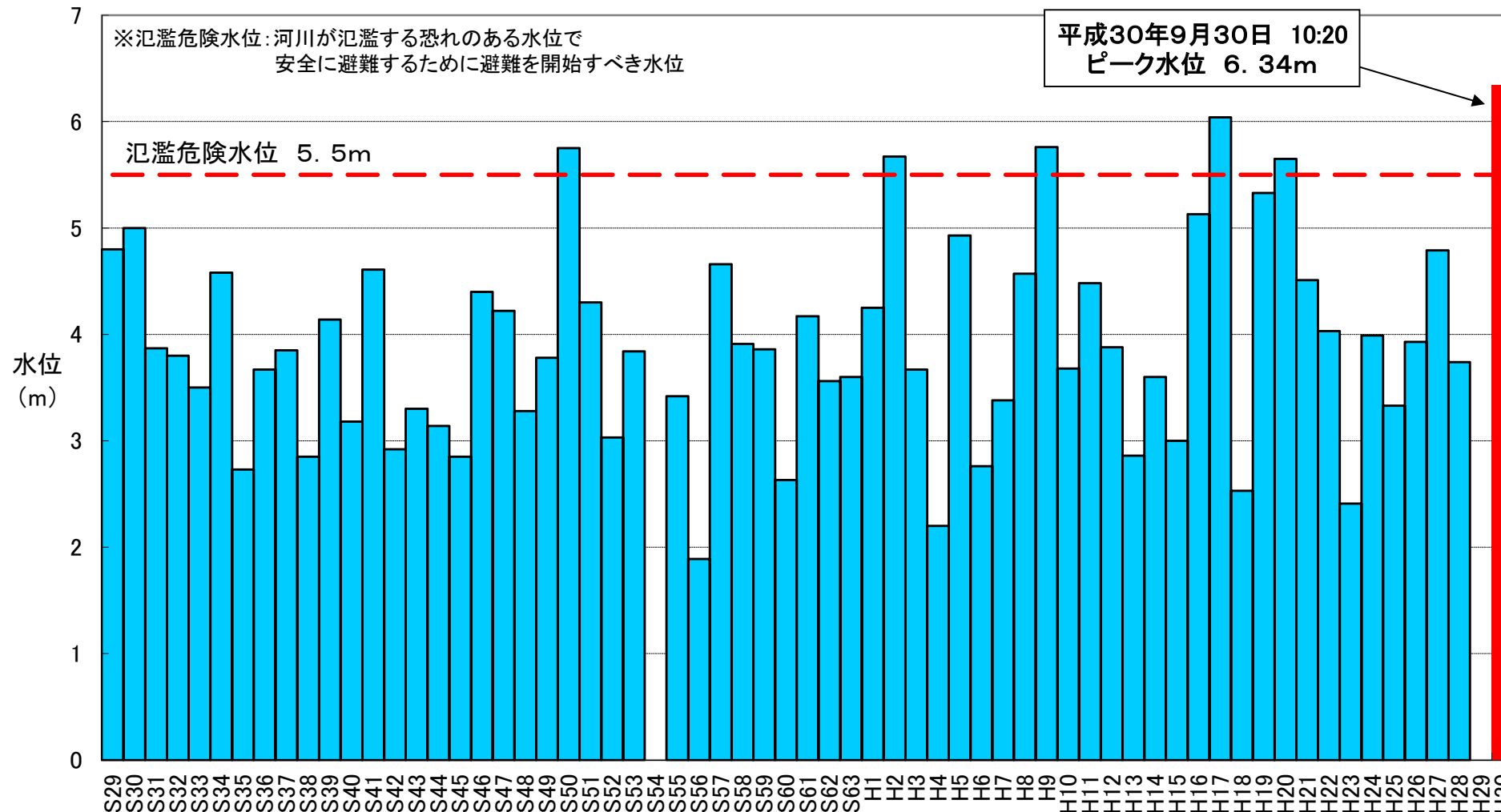
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 水位の概要④-1 (肝属川水系始良川)

肝属川水系始良川の始良橋(あいらばし)水位観測所において、9月30日10時20分に観測史上最高水位となる6.34mを記録しました。

始良川(始良橋水位観測所)の年最高水位比較図

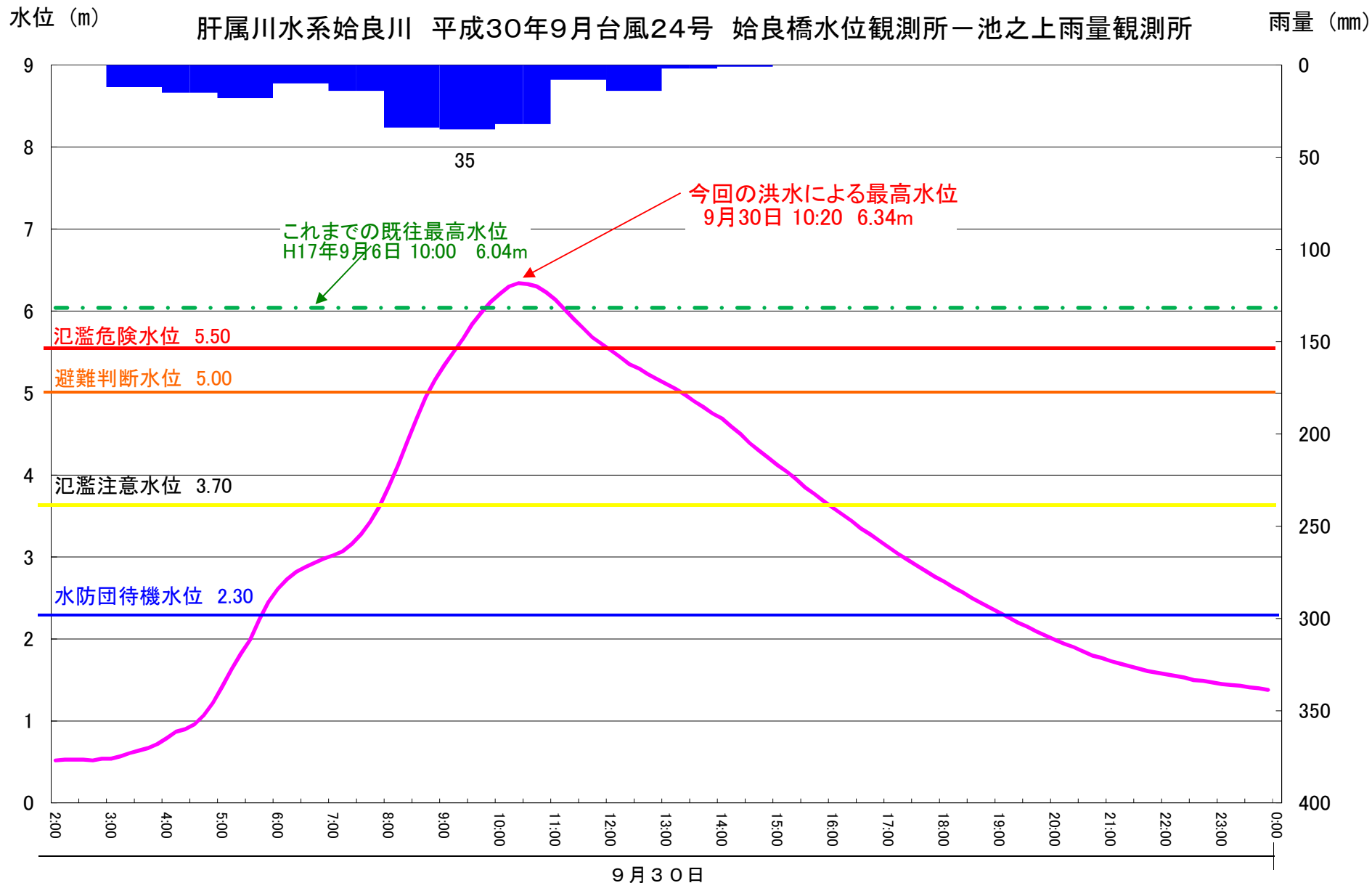
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。



※岳下水位観測所 所在地:大淀川 77.6km地点(宮崎県都城市都島) 零点高:T.P. 135.0m

※本グラフは、「欠測」となっているデータを評価していない。

4. 水位の概要④-1 (肝属川水系始良川)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

5. 出水状況写真（大淀川水系）



大淀川56k200 宮崎県都城市 霧島大橋付近



大淀川71k800 宮崎県都城市吉尾町付近



宮崎県宮崎市富吉付近 国道10号線



宮崎県宮崎市高岡町花見付近

5. 出水状況写真（肝属川水系）



肝属川12k200 鹿児島県鹿屋市吾平町下名川北付近



始良川0k500 鹿児島県鹿屋市吾平町 吉田橋付近



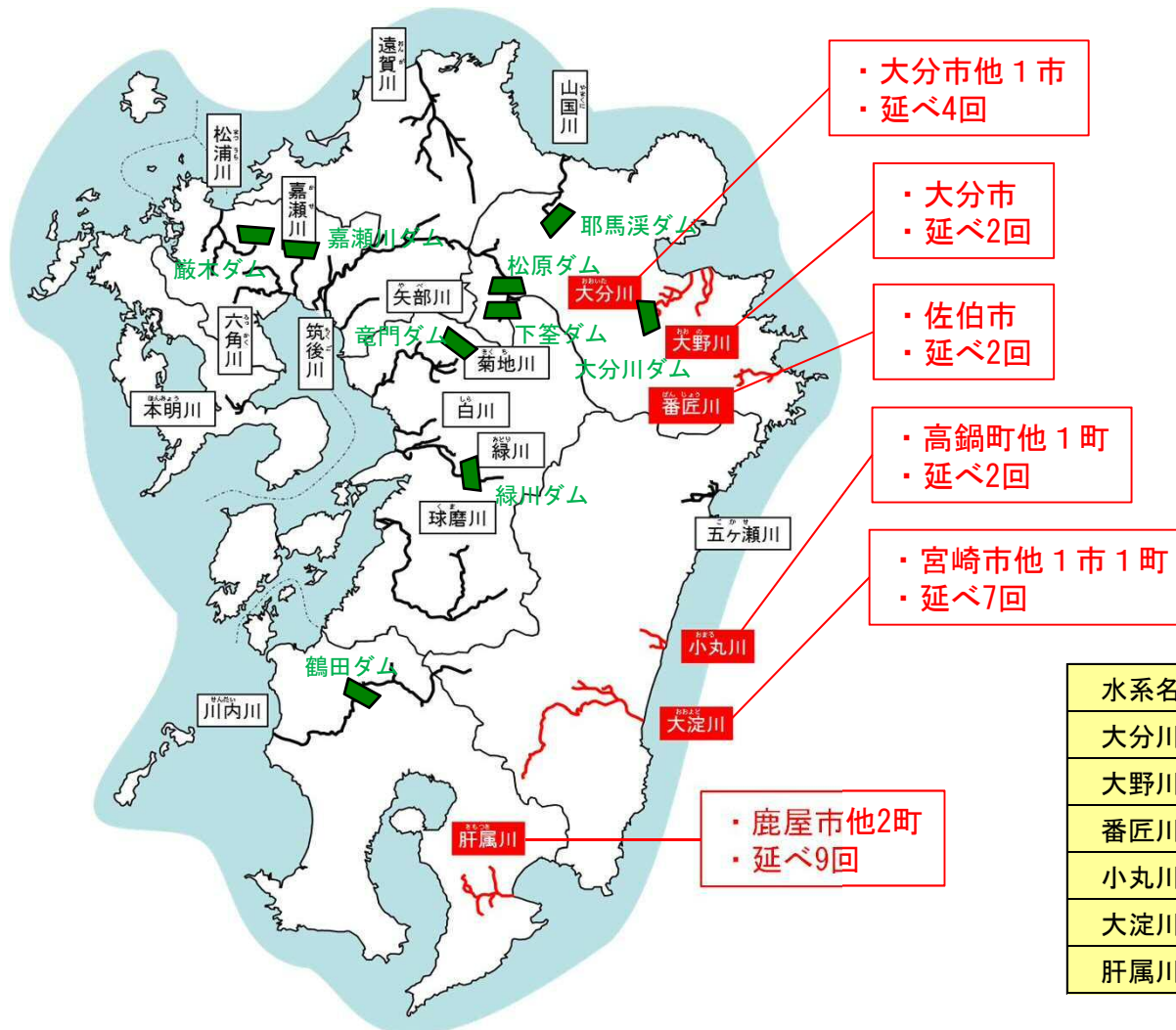
鹿児島県肝属郡肝付町宮下付近



鹿児島県鹿屋市川東町付近 県道68号線

自治体の防災対応に資する**きめ細やかな情報**を流域首長へ提供

○九州の国が管理している**6水系**において河川関係事務所長等から関係市町村長等**(6市5町)**に対し、**ホットラインを延べ26回**実施しました。



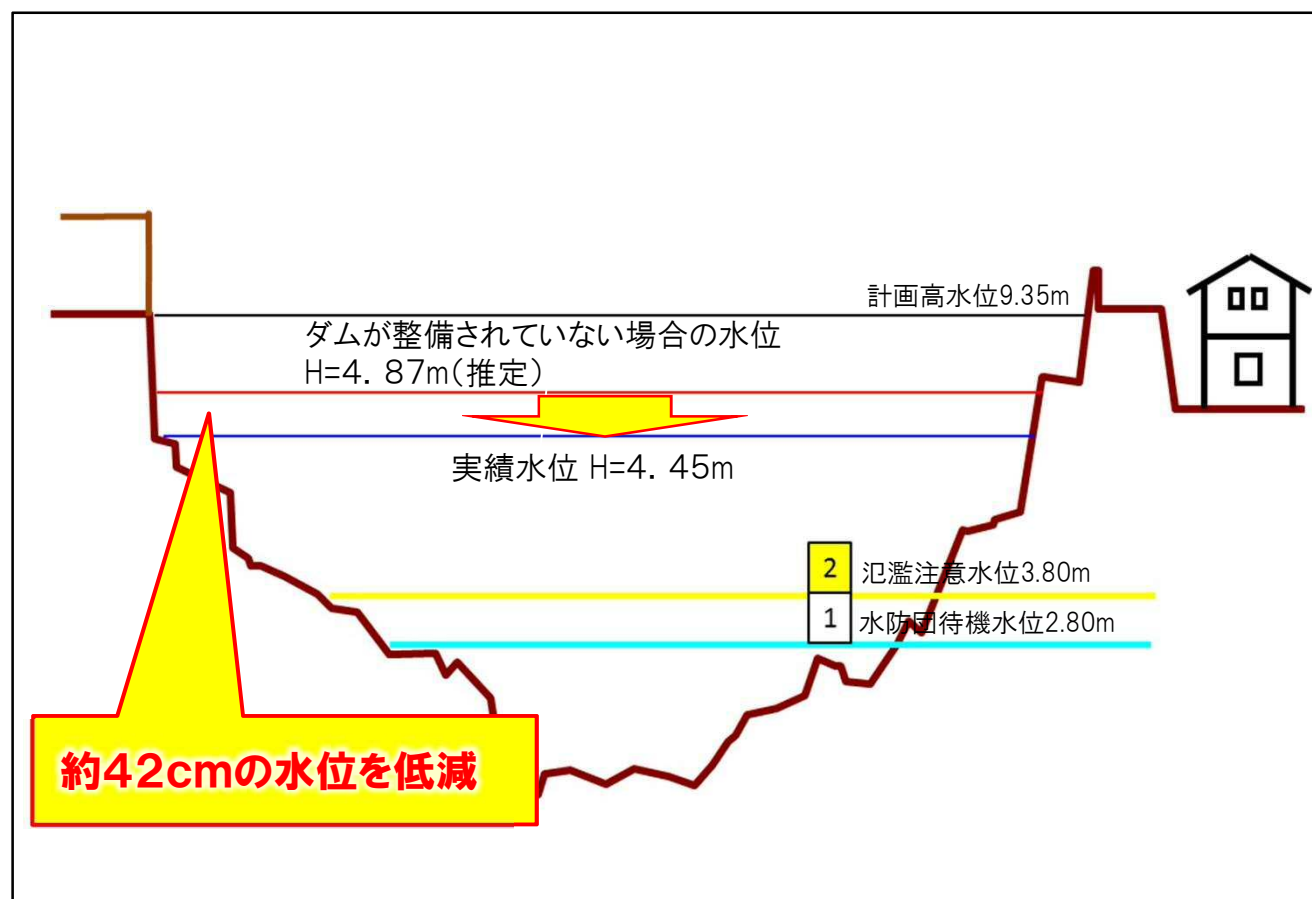
ホットライン実施市町村

水系名	実施回数	市町村		
大分川	4	大分市	由布市	
大野川	2	大分市		
番匠川	2	佐伯市		
小丸川	2	高鍋町	木城町	
大淀川	7	宮崎市	都城市	国富町
肝属川	9	鹿屋市	肝付町	東串良町

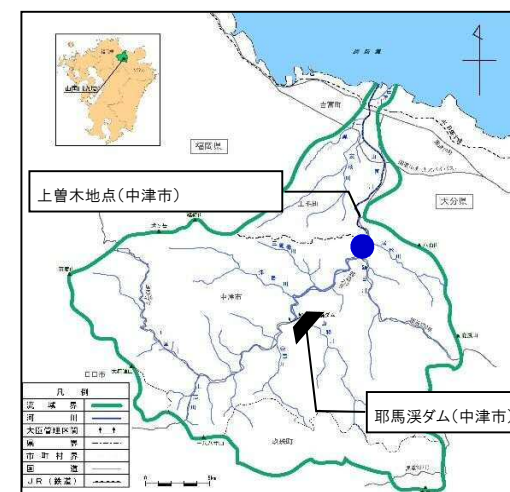
耶馬溪ダム下流の上曾木地点で水位を約42cm低減

- 9月30日13時43分より防災操作を開始し、9月30日14時10分には174m³/秒をダムに貯留しました。
- 耶馬溪ダムが整備されていなければ、上曾木地点で水位が約42cm上昇していたと推定されます。

上曾木地点(中津市)



上曾木地点位置図



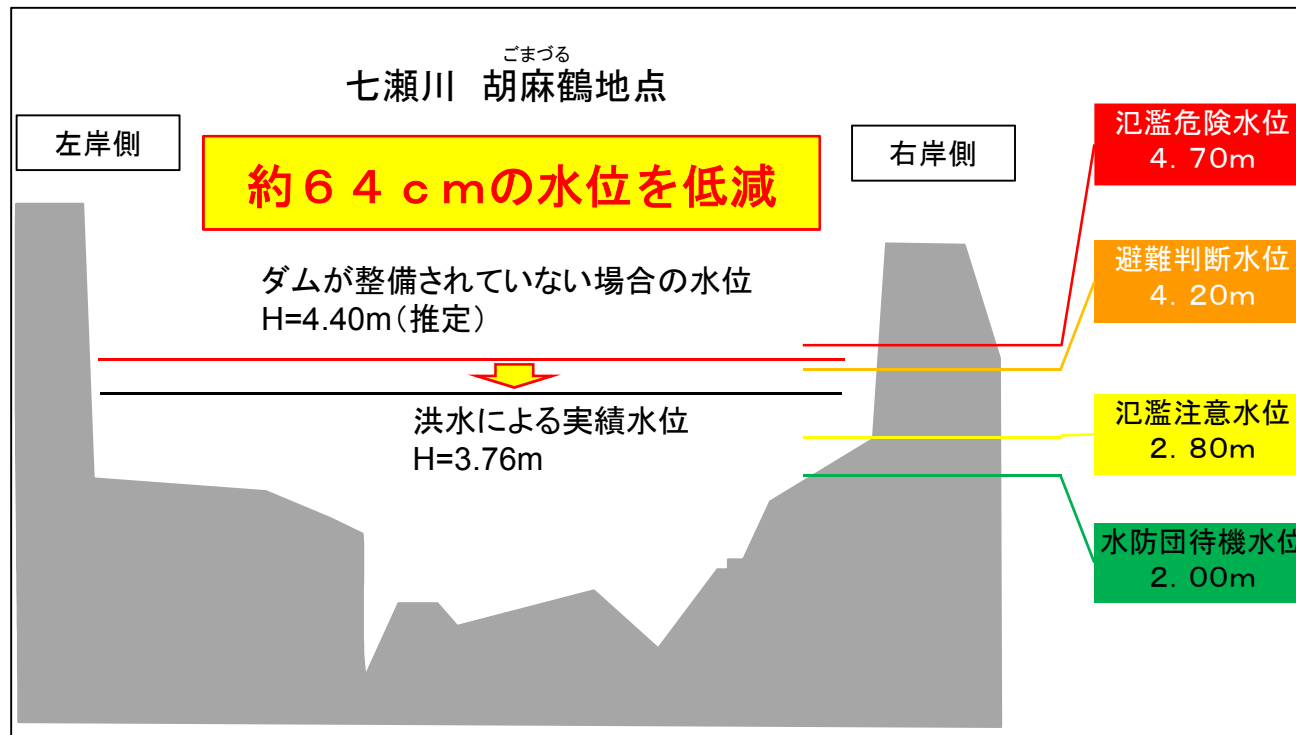
※数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

7. 治水事業の効果（大分川ダム試験湛水中の効果）

試験湛水中の大分川ダム、水位を約64cm低減

- 大分川ダムは、本格運用前の試験湛水中ですが、最大332.5万m³(25mプール約9236杯分)の洪水を一時的に貯留し、ダム下流の七瀬川の水位低減を図りました。
- 大分川ダムの洪水貯留がなければ、七瀬川の水位は避難判断水位を超過していたと推定されます。
- 大分川ダムの完成に向け、引き続き試験湛水を着実に実施していきます。

ごまづる
胡麻鶴地点位置図



【参考資料】

治水事業の効果 (山国川水系耶馬溪ダム)

- 台風24号に伴う豪雨により、耶馬溪ダム上流域においては、139.4mm(9月28日21時～30日16時)の累加降雨を観測しました。
- 耶馬溪ダムは、30日13時43分より防災操作を開始し、30日14時10分にはダムへの流入量が最大となる321m³/秒に達し、ダムに174m³/秒を貯留しました。
- 耶馬溪ダムが整備されていなければ、上曾木地点で水位が約42cm上昇していたと推定されます。

耶馬溪ダム



下流から堤体を望む



◆耶馬溪ダムの状況

約174m³/秒 (=①-②)
少なくなって、流れていたと推測。

②下流の河川へ流した水量
147m³/秒
(9月30日14時10分時点)

耶馬溪ダム

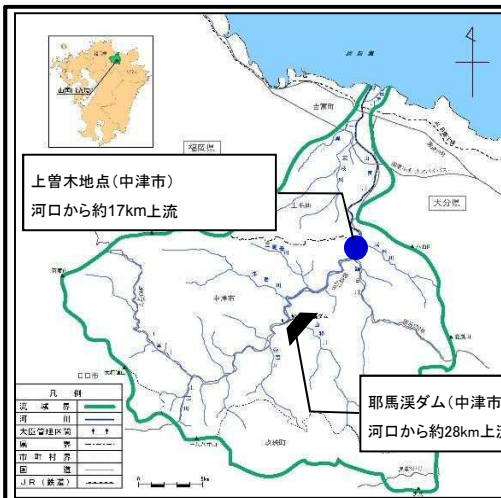
①耶馬溪ダムへ流れてきた水量

321m³/秒 (9月30日14時10分時点)

洪水貯留後最高水位 : 162.68m
(9月30日15時21分時点) 約0.91m上昇

洪水貯留前貯水位 : 161.77m
(9月30日13時43分時点)

約648千m³の水を貯め込んだ。
これは25mプールの約1,800杯分です。



上曾木地点での耶馬溪ダムの水位低減効果



※数値は速報値であるため今後変わる可能性があります。

治水事業の効果 (おおいたがわ 大分川水系大分川ダム(試験湛水中の効果))

- 台風24号に伴う豪雨により、大分川ダム上流域においては、7月豪雨の192mmを大幅に上回る318mm(9月28日22時～30日16時)の累加降雨を観測しました。
- 大分川ダムは、現在、本格運用前の試験湛水中ですが、7月豪雨の約2倍となる最大332.5万m³(25mプール約9236杯分)の洪水を一時的に貯留し、ダム下流の七瀬川の水位低減を図りました。
- 大分川ダムの洪水貯留がなければ、七瀬川の水位は避難判断水位を超過していたと推定されます。
- 大分川ダムの完成に向け、引き続き試験湛水を着実に実施していきます。



◆大分川ダムの状況

約242.2m³/秒(=①-②)
少なくなって、流れていたと推測。

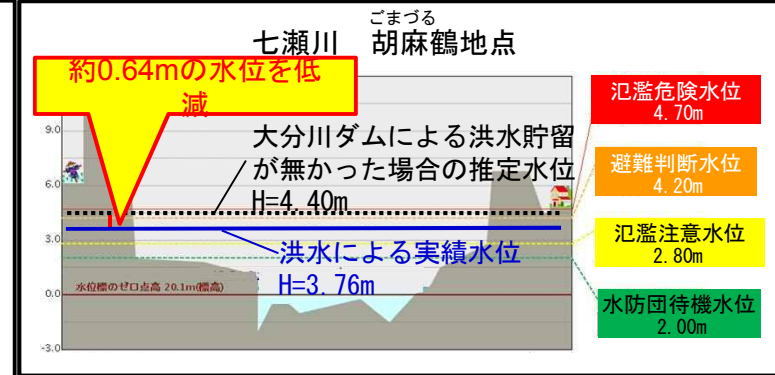
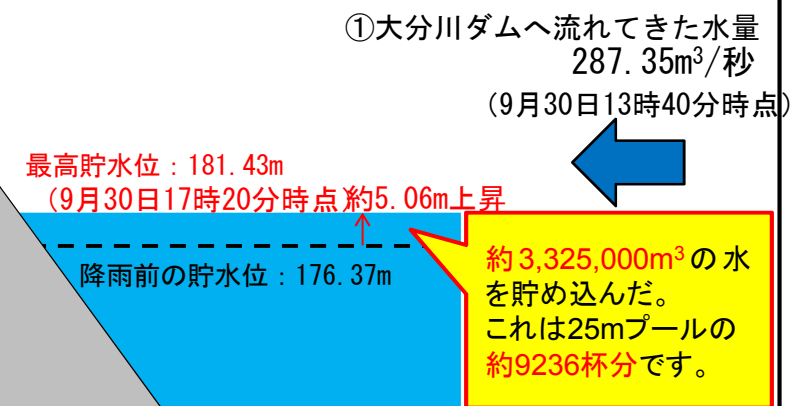
②下流の河川
へ
4.5倍の水量

(9月30日13時40分時点) 大分川ダム

今市雨量観測所(累加雨量) : 318mm (9/28 22時～9/30 16時まで)



大分川流域図



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。